

1

問1(1) (2) (3) (4) A B

問2 問3 問4

問5

問5：同意可

問6

2

問1(1) (2) 問2(1) (2) 問3

問4 問5 問6 問7 問8 問9

問10(1) (2) 問11 問12

3

問1 問2 問3(1) (2) 問4

問5(1) (2)

問5(2)：同意可

問6 問7 問8 問9

問10 問11 問12 問13

問13：完答

4

問1(1) (2)

問1(1)：完答

問2(1) (2) 問3(1) (2)

問3(2)：完答

問4(1) (2) 問5(1) (2)

問5(1)：完答

下線部：漢字指定

配点：各2点

1 【地理分野：農業】

- 問1(2) ア：石狩平野での工夫 イ：濃尾平野（木曾三川河口の輪中地域）での工夫 エ：讃岐平野での工夫
 (4) ア：青森県（「つがる（津軽）」は青森県の都市名）
 イ：石川県（「加賀百万石」→江戸時代に石川県を中心とする地域を治めた大名の石高より）
 ウ：北海道（道内で1番作付面積が広い品種）
 エ：沖縄県（「ちゅら」は「美しい」という意味の琉球の言葉）
 オ：福井県（福井県東部の旧国名である「越前」より）
- 問2 2020年の米の収穫量は776.3万t。近年は770万t前後で推移している。
- 問4 Gは減少傾向ではあるが米の供給量よりも多いことから野菜、増加傾向にあるF・Hのうち供給量が多い方が牛乳乳製品である。よってHが肉類となる。
- 問6 ウ：火力発電の燃料は石油、石炭、天然ガスである。さとうきびなどの植物を燃料とするバイオ燃料（バイオエタノールなど）の利用も進められているが、米は火力発電の燃料としては用いられていない。
 エ：新潟県が米の消費を促すことを目的としたプロジェクトを立ち上げ、動画をホームページにアップしたことが話題となっている。

2 【地理分野：日本の国土（島・川・湖沼）】

- 問1(2) イ：経済水域は200海里まで認められている。1海里が約1852mであることから、200海里は約370.4kmとなる。
 $370.4 \text{ (km)} \times 370.4 \text{ (km)} \times 3.14 = 430,795.9 \dots \text{ km}^2$ となる。
- 問2(2) ウ：奄美大島（鹿児島県）は、徳之島（鹿児島県）や沖縄島北部・西表島（沖縄県）とともに世界自然遺産として昨年（2021年）登録された。
- 問3 四大島の面積比は、四国：九州：北海道：本州＝1：2：4：12である。四国の面積が約2万km²であることから、北海道は約8万km²となる。
- 問4 Y：球磨川は熊本県の中西部にある八代平野から八代海に注ぐ。水俣市は熊本県の南西部に位置する都市で、球磨川は流れこまない。また、水俣病の原因物質はメチル水銀（有機水銀）である。カドミウムは富山県神通川流域で発生したイタイイタイ病の原因物質である。
- 問5 天竜川流域にはすぎ林が広がっており、吉野すぎ、尾鷲ひのきとともに「人工の三大美林」に数えられる。これに対して、津軽（青森）ひば、秋田すぎ、木曾ひのきを「天然の三大美林」とよぶ。北山すぎは京都府に見られる。
- 問6 東京－大阪間が約400km、東京－札幌間が約800km、東京－福岡間が約900km、東京－那覇間が約1600kmであることを覚えておくこと。
- 問7 利根川は、長さが日本2位で、流域面積が日本1位である。よって、流域面積2位の石狩川（14330km²）より広いものを選ぶ。
- 問8 ア：石狩川や天塩川は北海道のみを流れる河川である。
 イ：河口が水源よりも北にある河川（信濃川・天塩川・阿武隈川・最上川・阿賀野川）と水源より南にある河川（利根川・石狩川・北上川・木曾川・天竜川）の数は同じである。
 ウ：河口が日本海側にある河川（信濃川・石狩川・天塩川・最上川・阿賀野川）と太平洋側にある河川（利根川・北上川・阿武隈川・木曾川・天竜川）の数は同じである。
 エ：信濃川の河口は中部地方の新潟県に、木曾川の河口は近畿地方の三重県に、天竜川の河口は中部地方の静岡県にある。
- 問9 ウ：サロマ湖で養殖がさかんなのはほたて貝である。真珠は志摩半島（三重県）や宇和海（愛媛県）での養殖がさかんである。
- 問10(1) エ：十和田湖は、青森県と秋田県にまたがっている。
 (2) 選択肢から、市役所（◎）、交番（X）、郵便局（⊕）のいずれかであることがわかる。松江市の地形図であり、1カ所しか標示されていない⑤が市役所である。②と④では②の方が数多く各地にあることから郵便局となり、残りの④が交番と考えられる。
- 問12 諏訪湖周辺では、戦前はせんい工業がさかんであったが、戦後は水や空気がきれいであることから精密機械工業が発達した。

3 【歴史分野：「墓」をテーマにした問題（縄文時代～飛鳥時代）】

- 問2 X：縄文時代にはすでに磨製石器も使用されていた。
- 問3(1) Y：弥生時代の農具には、稲の穂先を刈り取る道具として石包丁が使用された。
- 問4 ア：福岡県（弥生時代） イ：静岡県（弥生時代） ウ：青森県（縄文時代） エ：奈良県（弥生～古墳時代）
- 問6 ア：後漢書東夷伝（1世紀頃の日本） イ：漢書地理志（紀元前1世紀頃の日本）
 ウ：倭王武の上表文（宋書倭国伝・5世紀頃の日本） エ：魏志倭人伝（3世紀頃の日本）
- 問8 ア：土偶（縄文時代） イ：埴輪（古墳時代） ウ：弥生土器（弥生時代） エ：縄文土器（縄文時代）
- 問9 Y：稲荷山古墳は埼玉県にある。熊本県の江田船山古墳からも漢字が刻まれた鉄刀が見つかっており、稲荷山古墳出土の鉄剣と同じ「ワカタケル大王」と刻まれていた。
- 問11 X：仏教の伝来は6世紀である。
 Y：仏教は朝鮮半島にあった百濟（聖明王）から日本へ伝えられた。

- 問12 ア：中尊寺金色堂が建立された場所（岩手県） イ：写真の法隆寺が建立された場所（奈良県）
 ウ：平等院鳳凰堂が建立された場所（京都府） エ：後醍醐天皇が南朝を開いた場所（奈良県中部）
- 問13 狩猟採集生活であった縄文時代は、当初見晴らしの良い台地の上に集落がつくられ、稲作が伝わった弥生時代になると低地に水田がつくられるためその近くに集落が築かれるようになった。このころの住居は竪穴住居であることも覚えておくこと。

4 【歴史分野：「歌」をテーマにした問題（飛鳥時代～平安時代）】

- 問1(1) ア：蘇我馬子は聖徳太子の政治に協力した人物である。
 ウ：承久の乱は、1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒すために挙兵した反乱である。
- 問2(1) エ：坂上田村麻呂は平安時代の初めに桓武天皇から征夷大將軍に任命され、蝦夷征伐を行った人物。
- 問3(1) ア：小野妹子は遣隋使である。第1回遣唐使は犬上御田鍬。
 エ：遣唐使は、当初朝鮮半島経由で唐に向かったが、白村江の戦い（663年）以降新羅との関係が悪化したことから、東シナ海を横断するルートをとるようになった。それにより嵐によって難破することが多く、日本に帰って来られない人物も多く出るようになった。
- (2) 【語群Ⅰ】 イ：河内国（現在の大阪府）出身の僧。東大寺の大仏造りに協力した。
 ウ：唐の高僧。聖武天皇の要請に応じて来日し、東大寺に戒壇院を開いた。
 エ：讃岐国（現在の香川県）出身の僧。最澄とともに唐に渡り、真言宗を日本に伝えた。
- 【語群Ⅱ】 ア：鑑真が建立した寺院 ウ：坂上田村麻呂が建立した寺院 エ：空海が建立した寺院
- 問4(1) ア：かぐや姫の物語（平安時代・作者不明） イ：平家の栄華と没落を琵琶法師が語り広めた物語（鎌倉時代）
 エ：清少納言が書いた随筆（平安時代）
- (2) 紫式部は、藤原道長の娘彰子の教育係として活躍した。
 ア：701年（大宝律令の制定） イ：935年 ウ：1016年 エ：12世紀後半
- 問5(1) ア：平将門の乱が起こった年代
 ウ：平治の乱（平清盛と源義朝が戦った戦乱）が起こった年代
 エ：富士川の戦い（源平合戦）が起こった年代
- (2) 保元の乱は1156年に起こった。後白河天皇側には平清盛と源義朝がついて勝利に導いた。その後この両者の間に争いが起こり（平治の乱）、勝利した平清盛が1167年に太政大臣に任命され実権を握るようになった（平氏政権）。